

茶会記 Riverside Jazz Story 第8回 2011-5-7

Johnny Griffin & More ~ Riverside Label 裏街道

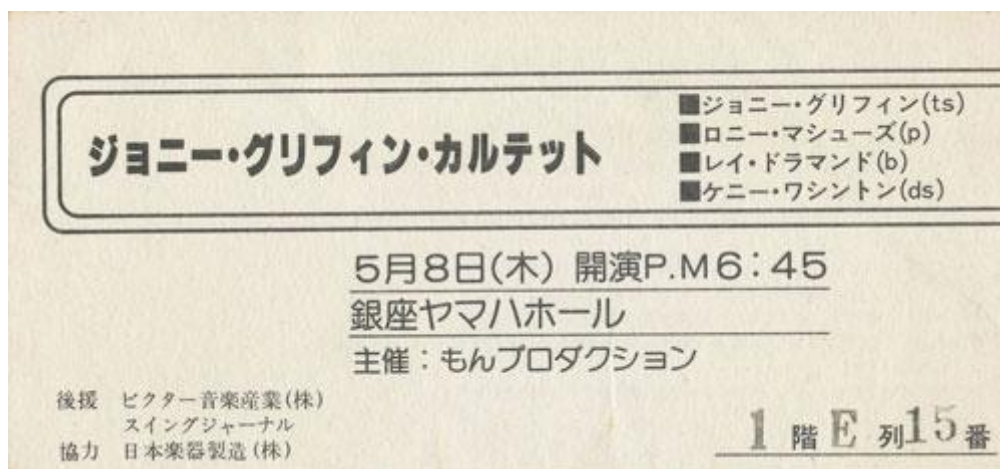


Photo from 『Philly Joe Jones Dameronia』(Uptown)

『リヴァーサイド・ジャズ物語』第8回は、古庄さんがお休みのため、瀧口が担当し、ゲストにジョニー・グリフィン・フリークの板橋純さんをお招きしてお送りします。

「裏街道リヴァーサイド」は、リヴァーサイド&ジャズランドに録音されたトロンボーンの演奏などを紹介します。また、グリフィン関連では、瀧口の愛聴盤から彼の参加した熱い演奏をお掛けします。冒頭に掲げたのは、ビバップ時代の天才作曲家&ピアニスト、タッド・ダメロンの偉業を伝えるフィリー・ジョー・ジョーンズ率いる中型コンボ・ダメロニアのジャケット内写真から、グリフィンとフィリー・ジョー。

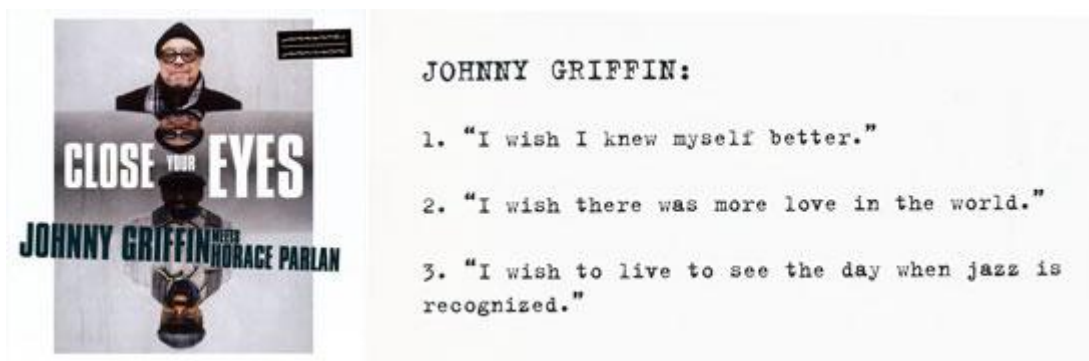
＜ジョニー・グリフィン来日公演のチケット2種＞



来日公演のチケットの写真を載せておきます。このころは、今から考えると贅沢なアーティストが来ていた。銀座ヤマハホールは板橋さんに行ったような気がする。



M1. Blue Concept	7:41	Nat Adderley / Much Brass
M2. I'll Remember April	4:16	Matthew Gee / Jazz By Gee!
M3. Gee!	6:11	Matthew Gee / Jazz By Gee!
M4. Spiritsvile	7:26	Julian Priester / Spiritsvile
M5. Nice And Easy	8:23	Johnny Lytle / Nice & Easy
M6. Look, Stop and Listen	5:52	Philly Joe Jones / Look, Stop, and Listen
M7. What Is This Thing Called Love	17:40	Johnny Griffin-Art Taylor / In Copenhagen



<おまけ> 時間があればかけます。

M8. The Jamfs Are Coming 5:24 Johnny Griffin / Close Your Eyes

右に載せたのは、ニカ夫人が写真を撮り、編集した名著『Three Wishes』に乗ったグリフィンの3つの願い。彼の思いが伝わってくる。。。。



Sonny Rollins & Johnny Griffin

Photo by Pannonica de Koenigswarter

次回は古庄さんがいらっしゃって通常通りの進行になります。毎月第一土曜日の午後2時から5時までを予定しています。スケジュールは、茶会記のHPでご確認ください。

茶会記 Riverside Jazz Story Vol.8 20110507

text by George Takiguchi (Studio Groovy) [studiogroovymusic@gmail.com](mailto:studiogroovymusic@gmail.com)